

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	玉野市立荘内中学校	実践者名	高馬康宏
教科等	社会科	学年	第1学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 3
育成したい 資質・能力	地理に関する様々な情報を収集し、他者に伝わりやすいように自分なりにまとめ、表現する力。		
単元・内容等	第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境 「班で協力して世界の国々の紹介動画を作ろう」		
児童生徒の実態 (端末活用頻度 等)	授業、学級活動、委員会など様々な場面で活用している。毎日タブレットを持ち帰り、AIドリルを使った先行学習や課題提出を行っている。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
【単元の概要】 世界各地の気候帯と衣食住の特色について学習した上で、単元のまとめの活動として実施した。			
【使用アプリ】 無料動画作成アプリ「clipchamp」を活用。			
【授業の流れ（2時間）】 (1) 班で国（地域）を一つ決める。 (2) 構成、分担を決める。1人1テーマを担当。 例：気候、衣服、食事、住居、歴史、文化など (3) 個人で10秒程度の動画をつくる。 (写真、説明、グラフ、音声、効果音などを盛り込む) (4) 完成した動画（班員）を各班の共有ドライブにアップする。 (5) 班の代表者が、班員の動画をつなぎ合わせて完成させる。 (6) 完成した動画（班）をクラスルームにアップする。			
			
実践者の手ごたえ 他教科での動画作成の経験もあり、スムーズに活動に取り組むことができた。従来行ってきたレポート・ポスター作成などに加えて、単元のまとめにおけるアウトプットの選択肢が広がったように思う。一方で、生徒間での進み具合に差があり、協力がスムーズにできない班もあった。本校が進める協同学習という視点を普段から大切にしたい授業づくりを進めていきたい。		児童生徒の振り返りや反応等 班によっては、Google ドキュメントをメモとして使用したり、スライドを班員で共同編集して作成したりするなど、自分達に適したやり方を模索し選択する姿が見られた。タブレットを活用することで、文章やイラストで表現することが苦手な生徒でも「分かりやすく伝えるためにどのような工夫ができるか」を考え、自分のアイデアを意欲的に表現することができていた。	